

# サンディングroupが取り組んだ 2015年度の4つの「Green」

サンディングroupは、2014年度に策定した「中期環境基本方針」を構成する4つの「Green」戦略—Green Technology、Green Management、Green Process、Green Communication—を推進し、環境活動(技術開発と社会貢献)に取り組んでいます。

## Green Technology

世界中の人々の生活環境の快適性向上と地球環境保全の両立を目指し、当社グループは自然冷媒技術とヒートポンプ技術に重点を置き、「冷やす・暖める」機能を中心に技術開発を進めています。

流通システム事業、住環境システム事業では、温暖化係数が低くオゾン層も破壊しない二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を冷媒として使用したコンプレッサー搭載の高効率、省エネの製品やシステムを2015年度も積極的に市場投入しました。自動車機器システム事業においても、ヒートポンプ技術を活用した最先端のテクノロジーによって、世界中の自動車メーカーと共に車両の環境負荷低減に取り組んでいます。

■様々な事業分野でグローバルに広がるサンデンのテクノロジー



■各地で行われている様々な環境教育



新人社員環境教育

環境教育(フランス)

環境朝礼(フィリピン)

環境教育(イタリア)

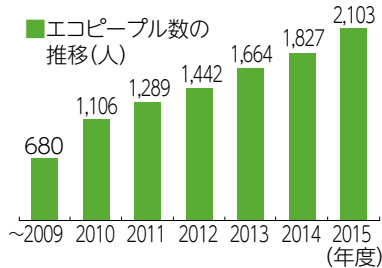
## Green Management

当社グループの経営方針である「環境から企業価値を創造する」に則し環境経営を向上させるには、人材の教育・育成が欠かせません。「環境マインド」を持った社員の教育・育成のために当社グループが行っている環境教育についてご紹介します。

環境経営の基本はISO14001(環境マネジメントシステム)の実践です。2015年度にISO14001の改訂が発表されたのを受け、内部監査員への教育を実施し、約200名が受講しました。

また、2009年度から「eco検定(環境社会検定試験®)」の受験を社員に対して推奨しています。2015年度は、7月および12月に行われた検定に際してeco検定対策セミナーを開催し、それぞれ約100人が受講しました。この2回の検定で250人以上が合格し、累計の合格者(エココピー)数は、2,103人となりました。

海外関連会社幹部社員を対象にした教育の継続実施など、様々な環境教育を行っています。



ISO 14001改訂に伴う勉強会



eco検定セミナー

## Green Process

当社グループは2018年度を最終年度とした「中期環境基本方針」を策定し、製造業としてエネルギー使用量等の環境負荷低減に取り組んでいます。2015年度は、当初設定した売上高原単位目標による体質改善に加え、地球環境保全への貢献をさらに強化するため、それぞれの環境負荷が総量で前年を上回らないことを目標とすることで今後の総量削減取り組みへの転換点としました。

目標達成に向け中国地区を最重点改善推進地区とし、サポート体制を充実させて環境活動強化の取り組みを開始しました。その結果、これまで把握しきれなかった環境負荷数値の見える化が進むとともに同地区での生産販売が急速に伸びたことも相まって、2015年度は、一部環境負

荷についてグローバル全体での目標を達成することができませんでした。

中国をはじめとした海外拠点の環境データをより迅速正確に捕捉・集計し改善につなげるため、2016年度は新たに環境管理情報システムを導入し、グローバルで環境負荷低減に徹底して取り組む企業運営を行っていきます。

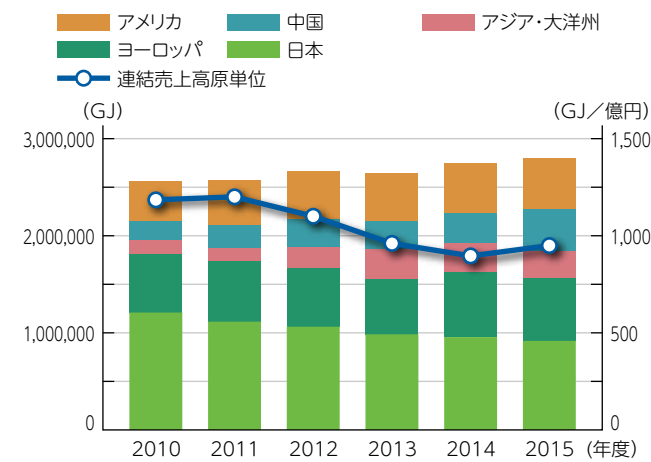


中国での環境指導

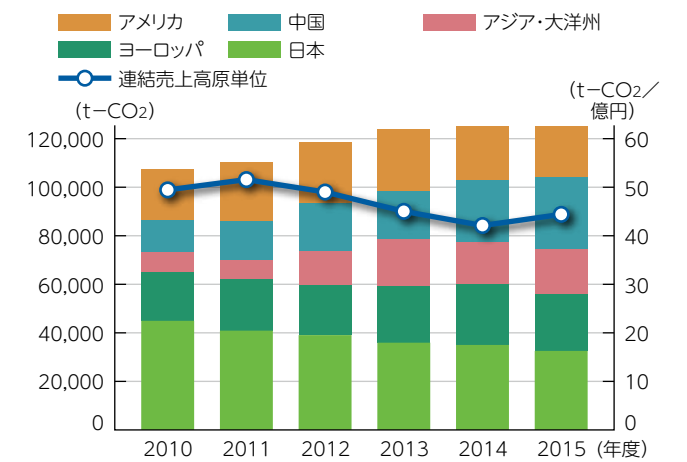


## 2015年度 サンディングroup環境パフォーマンスデータ

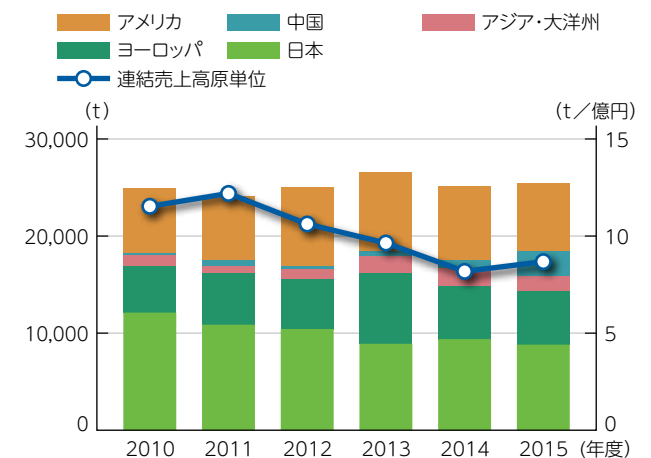
### エネルギー使用量 地域別実績推移



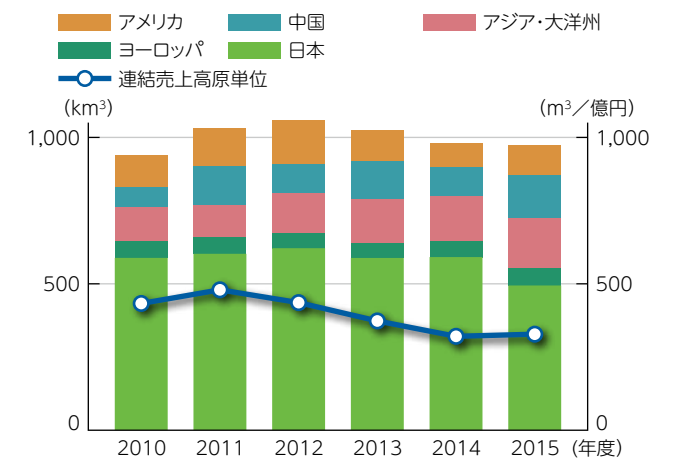
### CO<sub>2</sub>排出量 地域別実績推移



### 廃棄物排出量 地域別実績推移



### 水使用量 地域別実績推移





## サンデングループが取り組んだ 2015年度の4つの「Green」

### Green Communication

環境ブランドの向上を目指して、世界の各地で環境活動を展開するサンデングループ各拠点の様々な取り組みを紹介します。

- 2015年12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2015」に出展しました。今回の出展は、「CO<sub>2</sub>冷媒技術」「ヒートポンプ技術」にフォーカスし、これらの技術の有用性と当社製品の優位性をアピールしました。



- 生物多様性条約事務局が呼び掛け、国内では環境省、農林水産省、国土交通省が主唱する「グリーンウェイブ2015」に参加しました。国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)に植樹などを行うもので、国内外の当グループ各拠点で、5~6月に植樹などを行いました。



- グローバル各拠点では、独自の環境活動を登録して結果を報告する「環境オリジナリティ」活動を展開しました。



- Sanden Manufacturing Europe S.A.S.(フランス)では、社員食堂などから排出される生ごみを堆肥化する取り組みを始めました。



- サンデンフォレスト・赤城事業所では、2015年度も様々なイベントを開催し、15,000人を超える来場者をお迎えしました。

森のデッキづくり



Web    
<http://www.sanden.co.jp/csr/Disp.cgi?mode=detail&id=17>

### 目標と実績

2018年度を目標年度とする「中期環境基本方針」をもとに設定した2015年度の環境目標に対する活動結果についてご報告いたします。

※評価の基準(自己評価) A:達成 B:概ね達成 C:不十分

基本戦略	2018年度中期目標	2015年度環境目標	2015年度活動結果	評価*
Green Technology	製品環境指標を量産機すべてで達成(目標値は製品別に設定)	●製品環境指標0.9以下各事業新規開発機種で達成	●流通/住環境事業新規開発機種のすべてで0.9以下達成 ●一部自動車機器システム事業新製品で、0.9以下未達成	B
		●自動販売機エコリーフ環境ラベルの取得	●ヒートポンプ機 新規に29機種登録	A
Green Process	環境負荷低減 ●エネルギー使用量15%以上 ●廃棄物排出量15%以上 ●水使用量5%以上 ●有害化学物質排出量5%以上 (すべて売上高原単位) 2013年度実績比	●革新技術によって製品使用時の負荷を低減する	●流通機器事業でのCO <sub>2</sub> 冷媒機器のラインアップ拡大 ●次世代自動車向け電動コンプレッサー生産開始 ●トラック用HVACユニット開発販売によるアイドリング時のCO <sub>2</sub> 排出削減	A
		●CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位2013年度比6%削減 ●総量で2014年度実績を上回らない	〈連結〉 ●CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位 -2%(2013年度比) ●CO <sub>2</sub> 排出量総量 +1%(2014年度比) ※中国、アジア地区のCO <sub>2</sub> 排出量増加により、総量、原単位とも目標を達成できなかった(日本国内) ●CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位 -6%(2013年度比) ●CO <sub>2</sub> 排出量総量 -6%(2014年度比)	C
		●廃棄物排出量売上高原単位2013年度比6%削減 ●総量で2014年度実績を上回らない	〈連結〉 ●廃棄物排出量売上高原単位 -8%(2013年度比) ●廃棄物排出量総量 +4%(2014年度比) ※中国地区の捕捉率が向上したこともあり、総量で前年比増となった(日本国内) ●廃棄物排出量売上高原単位 +2%(2013年度比) ●廃棄物排出量総量 -6%(2014年度比)	B
		〈国内事業所/関連会社〉 ●再資源化率99%以上(ゼロエミッション)を継続する	●国内ISO14001取得全生産事業サイト(8サイト)で、再資源化率99%以上でゼロエミッションを継続	A
		●水使用量売上高原単位2013年度比2%削減 ●総量で2014年度実績を上回らない	〈連結〉 ●水使用量売上高原単位 -12%(2013年度比) ●水使用量総量 -1%(2014年度比) 〈日本国内〉 ●水使用量売上高原単位 -13%(2013年度比) ●水使用量総量 -16%(2014年度比)	A
		〈国内事業所〉 ●有害化学物質排出量売上高原単位2014年度比5%削減	〈国内事業所〉 ●有害化学物質排出量 -7%(PRTR対象物質)	A
〈国内〉 ●輸送でのエネルギー使用原単位を1%以上削減する(前年度比)	〈国内〉 ●エネルギー使用原単位前年度比 -11% 共同配送、引取り物流の拡大継続 JR輸送(モーダルシフト)拡大継続	A		
Green Management	環境活動レベル全サイトA以上	●環境方針の展開と環境マネジメントシステムを強化する	●環境大会、環境朝礼のグローバル発信強化 ●中央環境委員会、環境戦略会議の開催 ●中国地区環境活動改善サポート体制強化 ●海外拠点現地指導の実施 ●国内各拠点の内部環境監査の実施 ●国内グループ環境推進担当者会議の開催 ●事業所環境推進会議の開催 ●事業所別化学物質管理委員会の開催	A
Green Communication	外部評価Aレベル	●環境教育の実施・啓発を行う	●eco検定受験の推奨/セミナー開催(合格者276名増) ●ISO14001改訂内部監査員教育の実施 ●管理職層を主対象とした環境教育を、米州、欧州、中国の各拠点で実施	A
		●環境活動レベル評価の拠点へのフィードバック	●国内外拠点へ評価結果のフィードバックを実施し、各拠点で改善に取り組む	A
Green Communication	外部評価Aレベル	●環境展示会への出展	●エコプロダクツ2015出展 サンデンの環境技術をアピール	A
		●日経環境経営度ランキングを向上	●日経環境経営度ランキング37位(昨年度64位)	A